

英語1B (English 1B)					担当教員	
					非常勤講師	児玉 一宏
					非常勤講師	山内 浩充
					非常勤講師	藤原 由美
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等		
外国語	1年次 後期	講義	1.5単位	必修		

【概要】

本授業では、近年の言語学および言語習得研究の成果を踏まえ、英語運用能力の向上に繋がる文法知識と構文知識の習得を目的とする。「受験英語」とは異なる視点に立って英語を学習することで文法意識の高揚を図りたい。適宜、英文読解や和文英訳の演習を行い、学力の定着を図る。言葉の不思議さ、言葉について思索することの面白さを教授したい。

【授業の一般目標】

本授業では、英語の背後に隠されている興味深い法則の発見に努める。また、英文法を原理的に理解し、今後の英語学習への動機付けを図りたい。教科書や講義資料等を活用して授業時間外の英語学習にも積極的に取り組んでいただく。授業内容の予習復習だけでなく、課題提出、授業中の口頭発表を求める。単位修得には履修者の相当な努力と熱意が必須である。

【準備学習(予習・復習)】

次回の学習項目に該当する内容を担当教員の指示に従って予習する。受講後は教科書、ノート、講義資料等を読み返して十分復習する。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	導入	児玉一 藤原 山内	「文法」を学ぶ意義を理解する。
2	大学英文法	児玉一 藤原 山内	文法・語法・発音の基本を学ぶ。特に英語学習者が間違いやすい問題を中心に学習することで知識の定着を図る。
3	大学英文法	児玉一 藤原 山内	同上
4	大学英文法	児玉一 藤原 山内	同上
5	大学英文法	児玉一 藤原 山内	同上
6	大学英文法	児玉一 藤原 山内	同上
7	大学英文法	児玉一 藤原 山内	同上
8	大学英文法	児玉一 藤原 山内	同上
9	英語構文研究	児玉一 藤原 山内	読解や作文に役立つ構文知識の習得を目指す。
10	英語構文研究	児玉一 藤原 山内	同上
11	英語構文研究	児玉一 藤原	同上

12	英語構文研究	山内 児玉一 藤原 山内	同上
13	英語構文研究	児玉一 藤原 山内	同上
14	まとめ	児玉一 藤原 山内	授業内容を総復習し、理解を深める。
15	総括・まとめ		

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	【児玉、藤原】言語習得と用法基盤 モデル	山梨正明（編）	研究社
参考書	【山内】Scaffolding 言語学の領域（Ⅰ）	福井慶一郎・北山長貴 中島平三（編）	成美堂 朝倉書店

【成績評価方法・基準】

授業への参加態度、課題提出、小テスト、授業中試験の成績を総合的に評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

授業時にアポイントをとってください。